

## 平成24年度第2回 国立大学法人北海道大学経営協議会議事要旨

日 時 平成24年10月3日(水) 13:15～14:55  
場 所 事務局 第一会議室A  
出席者 21名  
(学内) 佐伯総長, 本堂, 三上, 上田, 山口, 新田, 鑄山, 村田, 吉見, 嗟峨, 福田,  
宇山 各委員  
(学外) 毛塚, 近藤, 数土, 林, 平山, 増山, 山崎, 山本, 横山 各委員  
欠席者 3名  
(学外) 高井, 野田, 松谷 各委員

### 議 事

総長から, 委員の交代及び再任があったことから, 委員の紹介があった。

また, 議事に先立ち, 平成24年6月12日の平成24年度第1回経営協議会の議事要旨について確認を行った。

#### 【 議 題 】

##### 1 総長選考会議委員の選出について

総長から, 総長選考会議の構成等について説明があった後, 本協議会選出の委員5名のうち, 近藤委員が本年9月末日で任期満了となったことから, 後任の委員を選出する必要があること, また, その選出方法は前回同様, 全出席委員による投票により行うことについて説明があり, 了承された。次いで, 投票立会人を福田委員及び宇山委員にお願いすること, 得票同数の場合の決定方法及び補欠委員の選出等について説明があった後, 投票が行われた。

投票の結果, 総長選考会議委員として, 近藤委員が, 補欠委員として松谷(次点), 高井(次々点)委員がそれぞれ選出された。

#### 【 報告事項等 】

##### 1 職員の給与の減額支給について

村田理事から, 資料に基づき報告があった。

##### 2 大型プロジェクトの進捗状況等の報告について

上田理事から, 「橋渡し研究支援プログラム(第1期プログラム)」, 「橋渡し研究加速ネットワークプログラム(第2期プログラム)」, 「先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム」, 「最先端研究開発支援プログラム」の4つのプロジェクトの進捗状況等について資料に基づき報告があった。

なお, 委員から, 「橋渡し研究加速ネットワークプログラム(第2期プログラム)」, 「先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム」については, 自立的な拠点の形成が求められており, 今後は, 研究成果を活用する側から見て魅力的な事業内容であるかを意識するとともに, 営業活動に積極的に取り組む等, 自立的な経営という視点から具体的なアクションを検討いただきたい旨発言があった。

また, 委員から, プロジェクトが進むと, 中心となるリーダーの属人的な側面が重要な

要素となることから、モチベーションを上げられるような取組を一層工夫いただきたい旨発言があった。

### 3 平成25年度概算要求について

村田理事から、資料に基づき報告があった。

なお、委員から、報告資料について、例えば過去の概算要求で特別経費として認められた事業を学部別に整理するなど、学内の競争意識を高められるような工夫を取り入れていただきたい旨発言があった。

また、委員から、「農業」に関する事業が概算要求に見当たらないが、日本の農業ひいては日本の経済政策に結びつくような研究に取り組むことが、北大の役割であるとの発言があった。さらに他の委員から、国の農業政策を論じる場に積極的に参加し、国の政策とうまく連動させながら「農業」に関する研究を展開いただきたい旨発言があった。

## 【 その他 】

### 1 退職手当の支給水準引下げについて

村田理事から、資料に基づき説明があり、現時点では退職手当の支給水準引下げについて、法案の提出・審議の時期等、国の動向が不明である旨報告があった。

次いで、総長から、本学の役職員の退職手当の支給水準については、今後の国及び社会全体の動向を見極めた上で社会情勢に適合したものとなるよう適切な時点で定めること、このため具体的な金額等については、総長に一任いただきたい旨発言があり、審議の結果了承された。

### 2 平成24年人事院給与勧告について

村田理事から、資料に基づき説明があり、現時点では人事院勧告の実施について、国の動向が不明である旨報告があった。

次いで、総長から、本学の職員の給与については、今後の国及び社会全体の動向を見極めた上で社会情勢に適合したものとなるよう適切な時点で定めること、このため具体的な金額等については、総長に一任いただきたい旨発言があり、審議の結果了承された。

### 3 2011年度環境報告書について

三上理事から、資料に基づき説明があった。

### 4 「新渡戸カレッジ」の創設について

委員から、このたび文部科学省のグローバル人材育成推進事業(タイプA(全学推進型))に採択された「新渡戸カレッジ」について説明いただきたい旨発言があり、本堂理事から取組内容や特色について席上配付資料に基づき説明があった後、同プログラムの実施に当たっては同窓会やOB等の協力なしでは成り立たないことから、協力をお願いしたい旨発言があった。

(以上)